授業中に困っている子供への支援のヒント

「もしもシート」でチェック！！

ケース別 Q&A 集

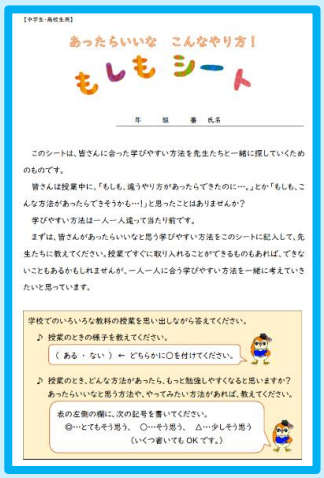
「もしもシート」を使ってみたけど…
ここから、どう考えたらいいか
分からないな…。

学級担任の
ラン子先生

「もしもシート」は、子供が授業中に感じている思いや願いを把握し、支援を考えていくためのツールです。

「もしもシート」を使って授業で支援を考えるときに、疑問が生じそうなケースごとに Q&A をまとめました。

ケース①～⑧を参考に、担当する子供を思い浮かべながら、支援を考えていきましょう！



【中学生・高校生用】

あったらいいな　こんなやり方！

もしもシート

年　組　番　氏名

このシートは、皆さんに合った学びやすい方法を先生たちと一緒に探していくためのものです。

皆さんは授業中に、「もしも、違うやり方があったらできたのに…。」とか「もしも、こんな方法があったらできそうかも…！」と思ったことはありませんか？

学びやすい方法は一人一人違って当たり前です。

まずは、皆さんがあったらいいなと思う学びやすい方法をこのシートに記入して、先生たちに教えてください。授業ですぐに取り入れることができるものもあれば、できないこともあるかもしれませんが、一人一人に合う学びやすい方法を一緒に考えていきたいと思っています。

学校でのいろいろな教科の授業を思い出しながら答えてください。

♪ 授業のときの様子を教えてください。

（ ある ・ ない ）← どちらかに○を付けてください。

♪ 授業のとき、どんな方法があったら、もっと勉強しやすくなると思いますか？
あったらいいなと思う方法や、やってみたい方法があれば、教えてください。

右の左側の欄に、次の記号を書いてください。
◎…とてもそう思う、 ○…そう思う、 △…少しそう思う
（いくつ書いても OK です。）

令和８年　広島県立教育センター

「もしもシート」使ってみたけど、こんなときどう考えたらいい？
―支援のプロセスでのケース①～⑧―

【ケース①】児童生徒によってはチェックを付けることが難しそう…。 →P.2へ

【ケース②】気になる児童生徒だけに実施はしにくいです…。 →P.2へ

支援のプロセス	教師の思い・動き	センター小学校 第4学年 せんたろうくん
学習上の困難さに気付く	せんたろうくん、ノートに書くのに時間が掛かるな…。	**もしもシート記入** 文字や漢字を書くことが難しいことがある。(ある) ◎使いやすい筆記具を使いたい。 ◎マス目の大きいものや罫線のある用紙がほしい。
もしもシート 子供の思いや願いを聞く	よし！「**もしもシート**」で、どんな方法が学びやすいのか聞いてみよう！	
	【ケース③】「もしもシート」にチェックが付いていない子がいます…。 →P.3へ	
実態把握 ・どんな困難さがあるのか ・どんな方法が学びやすいか	もしもトーク 「もしもシート」見たよ。字を書くとき大変なんだね。 はみ出したらいけないと思ったらゆっくりになってしまうんだ。 そうなんだね。じゃあ、プリントの枠を大きくしてみるね。	
	【ケース④】「もしもシート」と自分の見取りが違います…。 →P.3へ	
必要な支援の検討 ・授業でつまずきそうな場面はどこか ・どんな学びやすい方法が提供できるか	算数だと…グラフを作成するときに難しいかな。 じゃあ、グラフ作成はタブレット型パソコンでやってみよう！	
支援の決定・提供	【ケース⑤】チェックが付いていることを全て支援できそうにないです…。 →P.4へ	**授業で…**
	【ケース⑥】人と違う方法を嫌がる子がいます…。 →P.4へ	
支援の効果を確認、見直し	もしもトーク 「もしもシート」で教えてくれた方法を授業でやってみたけど、どうだったかな？ プリントの枠、大きかったから、書きやすかった！ タブレット型パソコンで作ったのも、やりやすかった！	
次の授業での支援に生かす	他の教科でもタブレット型パソコンを使った支援をしてみよう！	

【ケース⑦】いつ、「もしもトーク」をしたらいいですか？ →P.5へ

【ケース⑧】やってみたけど、うまくいかない場合はどうしたらいいですか？ →P.5へ

ケース1　児童生徒によってはチェックを付けることが難しそう…。

そういうときは…

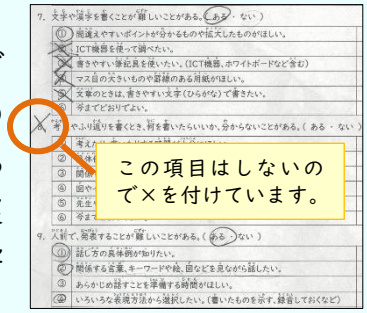
児童生徒がチェックできそうなところから、やってみましょう。

○ 実態に応じてカスタマイズ OK です。
○ 児童生徒の実態把握や聞いてみたいところだけ、項目を選んで実施しても OK です。

こんなふうに「やってみた！」

小学校１年生対象に実施しましたが、全部の項目で取り組むと時間が掛かりそうでした。

そこで、授業で困っている児童の姿がよく見られる場面を選んで実施しました。（小学校）



【「もしもシート」より一部抜粋】

こんなふうに「やってみた！」

行事の前に「もしもシート」を実施しました。活動に関係する「よくある場面」と、教師が生徒に提供することが具体的にイメージできる「学びやすい方法」だけを選択して提示しました。（中学校）

Google フォームで実施すると、
10分ぐらいでできたそうだラーン♪

ケース2　気になる児童生徒だけに実施はしにくいです…。

そういうときは…

学級全体で「もしもシート」に　取り組んでみましょう。

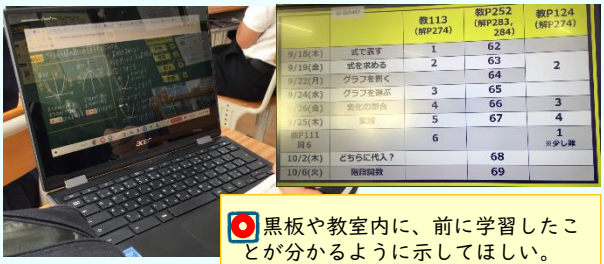
○ 個別でも、学級全体でも実施することができます。
○ 学級で実施することで、学級全体への支援を基に、個別の支援が考えられます。
○ 学級へ「学びやすい方法は一人一人違う」というメッセージを伝えられます。

こんなふうに「やってみた！」

授業が分かっていると把握していた児童生徒の中にも、「実は、難しかったんだ。」「不安に思っていたんだ。」という児童生徒がいたことに気付くことができました。（小学校、中学校、高等学校）

こんなふうに「やってみた！」

学級全体でチェックが多い項目は、その方法を「やってみたい！」と思っている生徒が多いということなので、全体への支援として取り入れました。（中学校）



黒板や教室内に、前に学習したことが分かるように示してほしい。

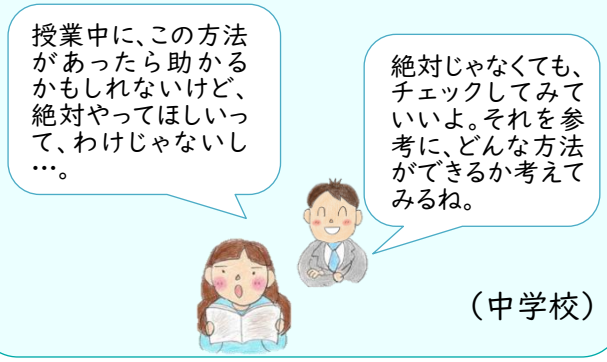
ケース3 「もしもシート」にチェックが付いていない子がいます…。

そういうときは…

どうしてチェックを付けていないのかを考えてみましょう。

○ チェックを付けていないことを児童生徒の実態（意思の表明）と考えます。
○ 「チェックが付いていなかったけど、今までに授業でやりやすかった方法がある？」と、今までの経験から聞いてみることもできます。

こんなふうに「やってみた！」



（中学校）

こんなふうに「やってみた！」

授業に前向きに取り組める状況でないのか、困っていることに気付いていないのか等、生徒の様子から考えていきました。

「今までどおりでよい。」にチェックが付いていたのは、現状で良いということだと捉えて支援を継続しました。（中学校）

ケース4 「もしもシート」と自分の見取りが違います…。

そういうときは…

児童生徒が「やってみたい！」と思っている支援からやってみましょう。

○ 児童生徒の思いや願いを大切にしていくことで、児童生徒の意欲につながります。
○ 「もしもトーク」（やりとり）をしながら、「学びやすい方法」を確認し、学びやすさを実感できるようにしていきます。

こんなふうに「やってみた！」

生徒が自由に「学びやすい方法」を選択できるようにしたときに、教師が予想していたものとは違う方法を選ぶときがありました。「こっちの方法がやりやすいのでは…？」と思った場合は、授業の途中で「この方法もあるよ？」「前の時間はこれでやってみたけど、今回はどうする？」等、「もしもトーク」（やりとり）をしながら、生徒自身が学びやすい方法を実感して選択できるようにしていきました。（中学校）

ケース 5　チェックが付いていることを全て支援できそうにないです…。

そういうときは…

取り組みやすそうなところから考えてみましょう。

○ 教科や単元に応じて、取り組みやすい「学びやすい方法」を考えます。
○ 様々な方法にチェックが付いていて判断しにくい場合は、全部提供しようとするよりも、その方法にチェックを付けた理由を児童生徒と「もしもトーク」をして考えます。

こんなふうに「やってみた！」

チェックに応じていろいろな方法を用意した結果、児童が何を選んだらいいのか迷ってしまうこともありました。

実態に応じて方法を精選して提示しました。（小学校）

こんなふうに「やってみた！」

「もしもシート」は、様々な教科に対応していたので、教科によっては支援を考えにくい部分もありました。単元の内容で考えやすいところからやってみました。（高等学校）

ケース 6　人と違う方法を嫌がる子がいます…。

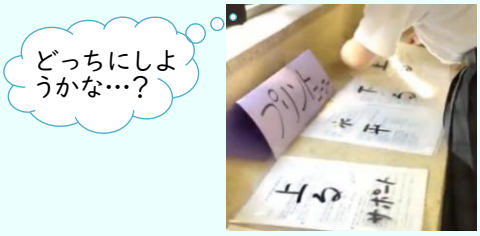
そういうときは…

個別だけではなく、学級全体への支援として取り組んでみましょう。

○ 支援（学びやすい方法）の提供の仕方を工夫します。
○ みんなと一緒の方が安心するという児童生徒もいるので、尊重します。

こんなふうに「やってみた！」

授業のプリントを2種類（通常のものと、ふりがな付きで穴埋めで記入できるもの）用意しました。個別にプリントを渡すのではなく、どの生徒も自由に自分が使いたいプリントを選択できるようにしました。（中学校）



こんなふうに「やってみた！」

個別に「パソコンを使ってみる？」と聞くと、生徒によっては「周りと自分だけ違うのは…」と抵抗感がありました。そこで、一度、学級全員でパソコンを使ったノートテイクをしました。その後、ノートでもパソコンでも良いことにすると、生徒によっては、パソコンを選ぶようになりました。（高等学校）

ケース 7　いつ、「もしもトーク」をしたらいいですか？

そういうときは…

授業開始、授業中、授業後など少しの時間でやってみましょう。

○「（学びやすい方法は）どうだった？」「どこか難しかった？」「また、同じ方法でやってみる？」等、短時間でも聞くことができます。
○ 児童生徒が学びやすい方法を振り返ることで、自己理解につながります。

こんなふうに「やってみた！」

授業が終わってすぐに聞いてみました。教科担任制なので、その場で聞くのがやりやすいです。（中学校）

個人面談でも、活用できるラーン♪

こんなふうに「やってみた！」

授業の振り返りシートに「学びやすい方法」についての感想を振り返りシートに書いてもらいました。（高等学校）

この前、「もしもシート」でやってみたい方法にチェックを付けてもらったでしょう。今日の授業は、それを参考にワークシートを用意してみたよ。どうだったか、感想を教えてね。

ケース 8　やってみたけど、うまくいかない場合はどうしたらいいですか？

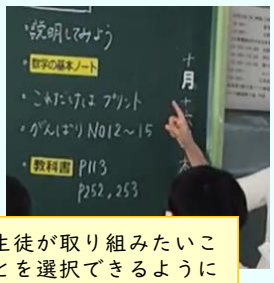
そういうときは…

子供たちの声を基に、他の支援でチャレンジしてみましょう。

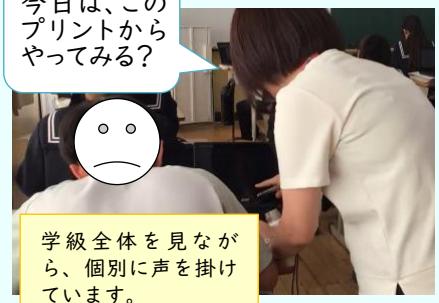
○「この方法だと、かえって難しい？」、「前の方法の方がよかったかな？」等聞きながら、別の支援方法を考えて提案してみます。
○「もしもトーク」をしながら、一緒に学びやすい方法を探し続けていきます。

こんなふうに「やってみた！」

生徒の様子を見ながら、できそうなところから声を掛けました。（中学校）



生徒が取り組みたいことを選択できるように板書に示しています。

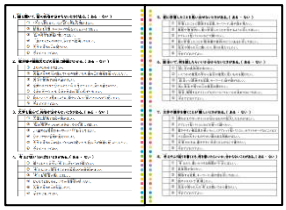


学級全体を見ながら、個別に声を掛けています。

おすすめ！

先生たちが授業で支援を考える際の共有ツールとしても活用できるラーン♪
例えば、「ここにチェックを付けているけど、どういう方法ができそうだと思う？」、「授業でこの方法をやってみたけど、子供たちの反応、よかったよ！」など、相談できるラーン♪

「もしもシート」をやってみた！先生たちの声から



【授業づくりについて】

「もしもシート」の項目が**支援を考えるヒント**になりました。授業だけではなく、宿題の出し方も工夫してみました。（中学校）

生徒が漠然と「難しい」と思っていることに対して、「もしもシート」で**具体的に考える**ことができました。（高等学校）

支援をすることで、**授業にアクセスする土台**を整えることができました。（高等学校）

支援が必要な生徒の学びやすい方法を授業に取り入れることで、**他の生徒も助かっていました**。（高等学校）

「もしもシート」のチェックから**自分の指導のクセに気付けた**し、学びやすい方法を提供しようとしたことは授業改善にもなりました。（高等学校）

【子供たちの変化について】

子供たちが学習内容だけでなく、**学ぶ方法を考える**ようになってきました。（小学校）

生徒**それぞれに、やりやすい方法**があることが分かりました。（高等学校）

表面的に困難さが見える児童だけでなく、「実は、これが苦手だったんだ。」と今まで気付けていなかった児童の**困難さに気付く**ことができました。（小学校）

【支援への考え方について】

「もしもシート」で困っていることを聞いたことによって、そこへ「大丈夫？」って**声を掛けられる**ようになりました。（小学校）

1対1で言えない生徒でも、紙に書くことができます。**生徒の声を聞く**ことができるツールだと思います。（中学校）

支援が教師の**一方通行ではない**。生徒と一緒に模索して、良い方法を見付けられている感じがします。（中学校）

生徒が「こんな風にやってくれたら、嬉しい。」等、意見を言ってくれるようになりました。これからも生徒の声を**聞いていきたい**と思います。（高等学校）

ケースを参考にして、やってみます！

子供たちの声を聞いて支援を考えたら、こんな気付きがあるんだラーン♪

【合理的配慮の提供の考え方】

合理的配慮は、「障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう」と障害者の権利に関する条約で定義されています。

教育活動の場面で考えると、障害のある子供たちが、障害のない子供たちと共に学ぶ際に活動が制限されたり、活動から排除されたりすることなく、平等に教育を受けられるようにするために個別に必要となる配慮になります。合理的配慮の提供にあたっては、建設的対話を通じて相互理解を深め、ともに対応策を検討していくことが重要です。

「もしもシート」は、合理的配慮の提供の考え方を参考に作成しています。合理的配慮の提供の際と同じように、児童生徒にとって学びやすい方法も、「もしもトーク」を通じて対応策を検討し、一人一人のニーズに応じた支援につなげてほしいと考えています。

「もしもシート」は
ここから♪

教育センターweb ページ
特別支援教育の部屋

本リーフレットは、研究事業（特別支援教育・教育相談部）「通常の学級における学習上の困難さのある児童生徒への教育的支援の在り方ー「もしもシート」の開発と活用を通してー」（令和６・７年度）の成果を基に作成したものです。

※ 作成に当たっては、一部イラストに生成 AI で加工したものを使用しています。

<研究者>
広島県立教育センター　指導主事　金本　倫子　廣藤　香織　井上　歩美

<共同研究者>
令和６年度　広島県教育委員会　指導主事　平川　真衣
令和７年度　広島県教育委員会　指導主事　田村　沙織
指導主事　間賀　綾音

令和６年度　東広島市立寺西小学校　教諭　沖野　舞
大竹市立玖波中学校　教諭　永野　由美
広島県立賀茂北高等学校　教諭　向井　統基

令和７年度　東広島市立入野小学校　教諭　阿部　恵大
尾道市立吉和中学校　教諭　赤瀬　彩子
広島県立賀茂北高等学校　教諭　向井　統基
広島県立安西高等学校　教諭　竹野　優子

<研究指導者>
独立行政法人　国立特別支援教育総合研究所
西日本ブランチ広島オフィス研究企画部　総括研究員　大崎　博史

（発行元・本研究に関する問合せ先）広島県立教育センター　特別支援教育・教育相談部　TEL　（082）428－1188